

【綾瀬市】
校務DX計画

1 国の動向を踏まえた対応について

(1) 「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言

令和5年3月8日付け、文部科学省作成「GIGAスクール構想の下での校務DXについて ～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」を踏まえ、課題改善に向け、校務系ネットワークや、次世代の校務支援システムの導入等、既存契約を踏まえ、次期リプレイス時に本市に即した働き方改善となるよう、環境整備や教育情報セキュリティポリシーについて、引き続き検討を進めていく。

(2) GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリストによる自己点検結果

令和6年3月29日付け、文部科学省初等中等教育局修学支援・教材課長より発出されている「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果（確定値）の公表について（通知）」を受け、本市の現状を再度点検した。

本市においては、保護者と学校間での情報連絡については、徐々にクラウドサービスを活用し、サービス改善に繋がっていることが確認された。

一方で、教職員間でのクラウドサービスを活用した情報共有や、FAXの利用・押印の実施等、教職員の校務に関係する部分の課題が確認された。

なお、本市では、オンプレミスサーバーで利用している校務支援システムやファイルサーバー等によって、学校間及び学校・教育委員会間の情報連絡を行っているため、至急改善する必要はないが、校務DX化チェックリストにおいては、データの円滑な共有だけでなく、ロケーションフリーな働き方も見据えていることから、クラウド上でのデータ共有が求められていると認識し、次世代のネットワーク環境の構築も踏まえ検討を進めていく必要がある。

2 今後の方針について

(1) 学校のネットワーク環境の改善

校内無線LANの通信速度の改善（通信プランの見直しや、ネットワークアセスメントによるボトルネックの改善等）を行い、GIGAスクール構想で整備したタブレット端末がより効果的に活用できる環境を構築する。

(2) ICTの効果的な活用方法の検討

校務DX化チェックリストの結果を踏まえ、教職員の校務に関係する課題として、次の点の改善に向け、検討する。

【抜粋】 GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト（学校設置者向け）

問12	宿題（学期中のもの）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施 ・採点していますか。
-----	---

問13	宿題（長期休暇中）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか。
問16	職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか。
問19	職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか。
問20	校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしていますか。
問21	教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し活用していますか。
問30	業務にFAXを使用していますか。
問31	保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類はありますか。

（３）次世代のネットワーク環境及び校務支援システムの導入について

文部科学省の掲げる校務D Xの推進に係る要請に応えるほか、学校教育の情報化に係る様々な要請にもできる限り応えていくため、クラウドサービスを活用した校務の効率化が実施できるよう環境の見直しを進める。